

SACCIM —つながりを保ったまま距離のおける人間関係を 作るために—

永井慶吾（思索工藤コース、2025/03/12）

SACCIM -Smart And Collaborative Contact Information Manager-

- 私はSecHack365で、SACCIM -Smart And Collaborative Contact Information Manager- を開発した
- 従来のアドレス帳のような連絡先の管理に加えて、ユーザー同士でつながることによって連絡先の交換が行えるサービス
 - 一人一人が持っている複数の連絡手段とつながりを一か所に統合する
- まずはデモをした後に、問題意識や作品の説明をする

現状の連絡先交換方法と問題点

- 連絡先の交換は、多くの場合、連絡手段を直接交換する方法で行われる
- Twitterをフォローする
- LINEで友達になる
- つまり、つながりを何らかのコミュニケーション手段に頼っている状態
- この状態にはいくつか問題がある

現状の問題点 (1): 人とのつながりが何らかのサービスに依存してしまう

- コミュニケーションに利用しているサービスやプラットフォームから離れられず、影響を受けやすい
- 誰かとのつながりが切れることが気になって、特定のSNSをなかなかやめられない
- メッセージングサービスのアカウントにログインできなくなってしまい、過去の友人と連絡が取れなくなった
- つながりの可用性がない

現状の問題点 (2): お互いにとって最適な連絡手段が選べないことがある

- コミュニケーション手段は多様化している
- メール・メッセージングサービス・ソーシャルメディア・分散型SNS・ETC...
- 人によってうれしいコミュニケーション手段は異なるはず
- お互いが最適なコミュニケーション手段をさりげなく主張できない
- 集団内のコミュニケーション手段の利用率などの「空気」に左右されてしまう

現状の (3): 人とのつながりが複数のサービスに分散してしまう

- 問題 (1) は、複数のサービスを使ってつながっておけば解決できる
- →つながりが分散してしまい、どの人とどのサービスでつながっているのか把握が難しくなる
- LINEの存在とTwitterの存在は異なったものとして見える

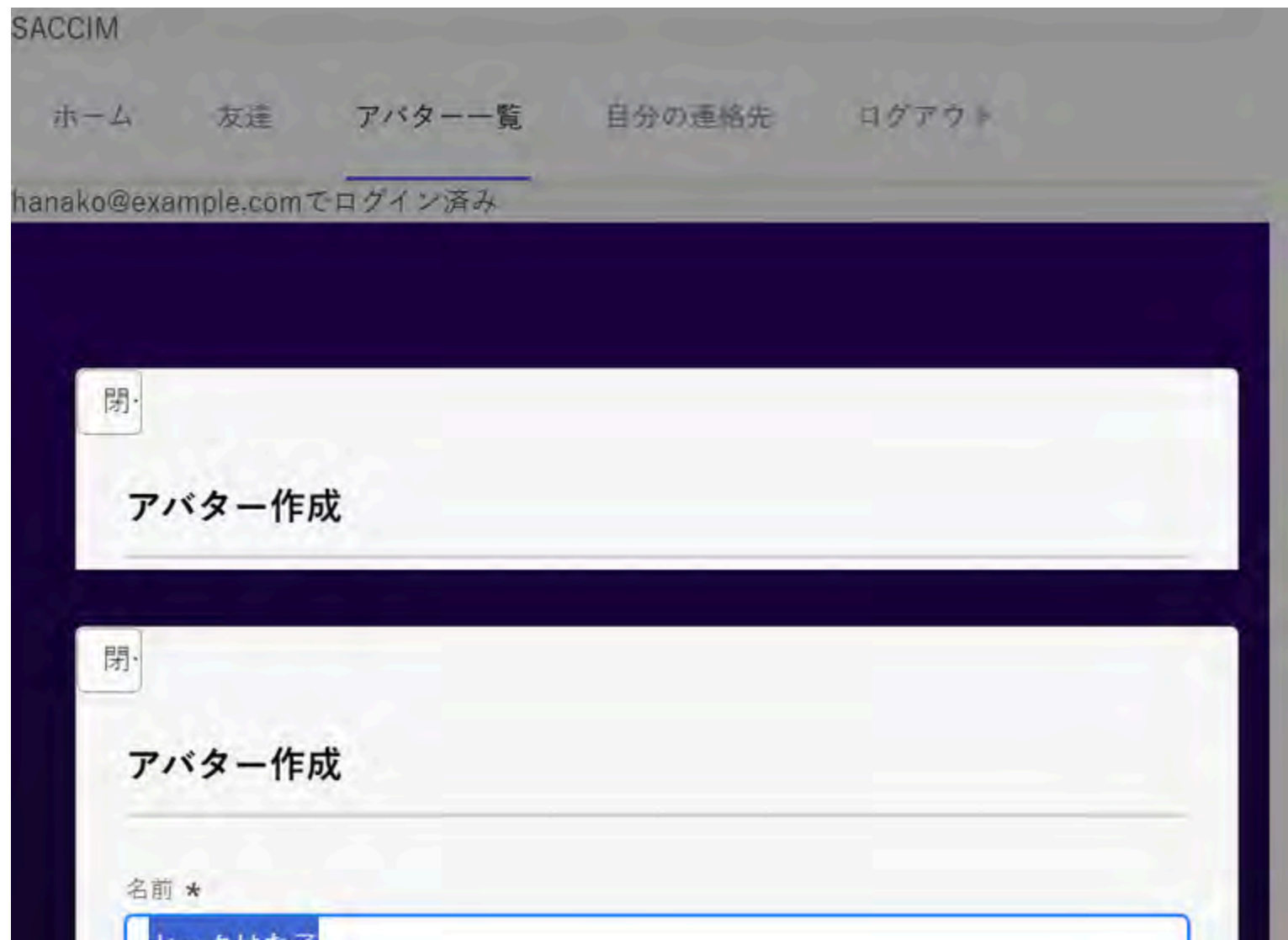
SACCIMで解決

- 複数の連絡手段を「人」に結び付けて管理する連絡先管理サービス
- 連絡先の追加はSACCIMユーザー同士で友達になるだけ
- 交換後でも連絡先の追加や変更が可能
- コミュニケーション手段自体が使えなくなっても、SACCIMでつながっていれば復旧できる
- 複数の連絡先を一度に交換できるので、お互いに相手の利用可能な連絡手段を知った状態で選択ができる

SACCIMでの連絡先とアバターの登録

- アバター一覧からアバターを登録する
- 連絡先一覧から連絡先を追加する
- 必要な連絡先の分だけこれをくりかえす

アバター追加画面



アバター一覧画面

SACCIM

ホーム

友達

アバター一覧

自分の連絡先

ログアウト

hanako@example.comでログイン済み

アバター一覧

アバターを新規作成

セツ セツはな子

自分の連絡先一覧画面（内容無し）

- ここで自分の利用している連絡先一覧を管理する

SACCIM

[ホーム](#)

[友達](#)

[アバター一覧](#)

[自分の連絡先](#)

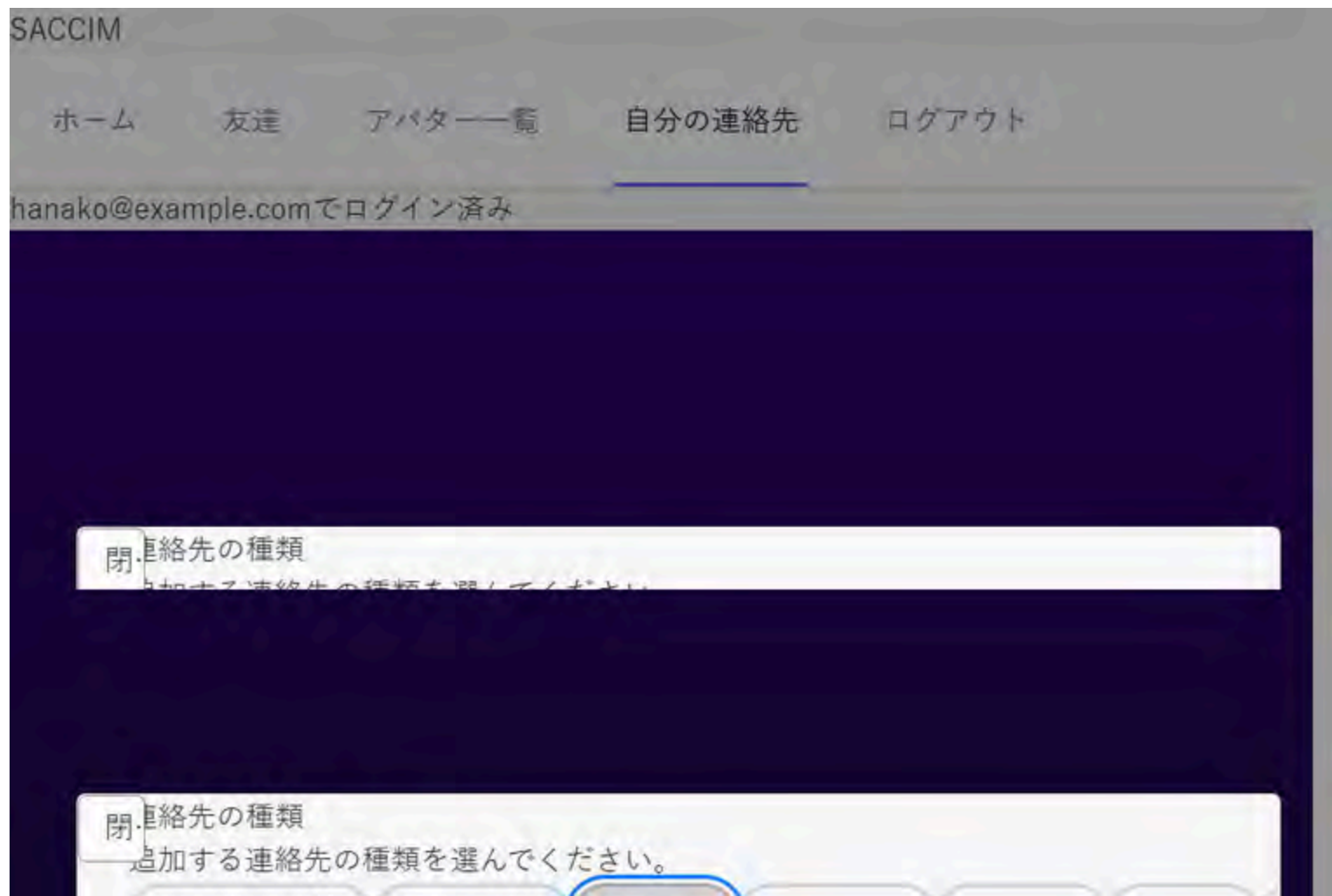
[ログアウト](#)

hanako@example.comでログイン済み

自分の連絡先

連絡先追加画面 (1)

- 追加する連絡先の種類の選択



連絡先追加画面 (2)

- 連絡先を入力する

The screenshot shows a mobile application interface for adding a contact. At the top, the name 'SACCIM' is displayed. Below it is a navigation bar with five items: 'ホーム', '友達', 'アバター一覧', '自分の連絡先', and 'ログアウト'. The '自分の連絡先' item is underlined. Below the navigation bar, the text 'hanako@example.comでログイン済み' is visible. The main content area contains two identical forms for adding a contact. Each form has a '閉・戻る' button in the top left corner. The title of the form is 'Twitterを追加'. Below the title is a text input field with the placeholder text 'Twitter(X)のプロフィールURLまたはユーザー名 *'. The bottom of the form is partially obscured by a dark blue bar.

連絡先一覧画面（情報追加済み）

- 他のユーザーと友達になるとこれと同じものが見えるようになる



連絡先交換の流れ

- アバターを選び、アバターに紐づいた招待リンクを交換相手に共有する
- 招待リンクにアクセスした先から友達申請してもらう
- 友達申請時には利用するアバターを選べる
- 友達申請を許可すると、お互いに連絡先一覧に追加される

アバター招待情報画面

- 表示されているURLを交換相手と共有する



別アカウントで招待リンクにアクセスしたところ

SACCIM

ホーム

友達

アバター一覧

自分の連絡先

ログアウト

tarou@example.comでログイン済み

友達追加

セッ

セックはな子

利用アバター選択画面

- 申請で利用するアバターを選択する、申請相手によって見せるアバターを分けることも可能



申請された側の友達申請一覧画面



申請許可画面

SACCIM

ホーム

友達

アバター一覧

自分の連絡先

ログアウト

hanako@example.comでログイン済み

友達一覧 > 友達申請一覧 > セック太郎

友達申請詳細

セツ セック太郎

承認すると、あなたは **セックはな子** として相手に表示されます。

友達一覧に追加される

SACCIM

ホーム

友達

アバター一覧

自分の連絡先

ログアウト

hanako@example.comでログイン済み

友達一覧

[友達申請一覧を見る](#)

セツ セツ太郎

セック太郎さんの友達一覧にも追加される



友達詳細画面

- 自分の連絡先に登録したものが共有されている



セック太郎さんの自分の連絡先一覧画面



セックはな子さんから見たセック太郎さんの友達詳細画面



SACCIM開発の思惑

- 1対1のメッセージングサービスよりもオープンなソーシャルメディアのつながり方が好き
- ゆるくつながった状態で、他社のことを観測して意識していきたい
- しかし、ほかのつながり方がよいという考えも尊重されるべき
- SACCIMで
 - ソーシャルメディアを公開する気があることをさりげなく主張できる
 - 連絡先が交換できなくても誰かとつながってることを意識できる

SecHack365で取り組んだ問題意識: 広く浅い人間関係とどう向き合うか

- 大学や社会などの大きな集団では、浅く広くのコミュニケーションを乗り越えさせる必要がある
- 相手のことがわからないので、何とか調和しようと頑張ってしまう
- 自分の中で誰が誰なのか区別が付きにくい
- 1対1で関わることがあっても、相手のふるまいが自分に最適化されていないか不安になる
- 一人でいると、そのような不安から自由になれるので良い

他者とかかわりたい気持ちもある

- でも、たまにものすごくうれしくなる出会いをすることがあって、ちゃんと人とかかわっててよかったなとなることがある
- もやもやを共有できた時だとか、好みや興味が似ている人に出会えたりだとか
- この時のうれしさは、他社とかかわることでは得られない
- そういう人がいたりつながりがあることを意識できれば、他社とかかわるエネルギーにできるはず
- そのような「仲良くなるきっかけ」が見つけれられるかどうかはかなり偶然的

相手のことで確実なことはわからない

- とはいえ、相手のふるまいは自分用に最適化されたものかもしれない
- →相手の自分への好感度や位置づけの確実な根拠は、その人自身のふるまいからは得られない
- 自分が好みか似ているなとかもやもやを共有できてうれしくなっている状態も、相手がほんとは望んでいないふるまいの結果なのかもしれない
- 相手のリソーススケジューリングに自分がどこまで割り込んでよいのかわからない

名刺交換アプリを開発

- 相手のことがわからないならわかるような情報源を作ればよい
- 自分の意志で事前に記述した自己紹介、名刺に着目
- 自分に関する情報の集合を名刺の形にまとめてデジタルで交換する
- そこから、相手のことがわかる
- 仲良くなれるときっかけが見つけられるかもしれない

#現状の名刺の問題点

- 事前に内容を決めて印刷する必要があり、ハードルが高い
- 検索性が低く、整理が難しい
- 渡してしまった名刺の情報を書き換えられない
- フォーマルなもので、日常生活の自己開示には向かない
- アクセシビリティが低い

名刺交換アプリ名刺画面

- 事前に作成した名刺のIDを共有することで気軽に名刺の開示が可能

自己紹介管理

ID管理

名刺帳

sign out

ログイン済み: 25c@sechack-example.com

詳細

名刺帳に登録

未登録

名刺の内容

名刺交換から連絡先管理へ

- 名刺ではビジネスで利用するものというイメージから離れられない
- もっとカジュアルに表現したい
- 名刺交換によって行いたいのは連絡先の交換と記録
- 仲良くなりたと思ったときに、距離を置いて関係性を保留にしたままつながっていただける状態を作る
- →連絡先の交換と管理へ

名刺交換アプリとSACCIM

- 相手のことがわかるようにして誰かと仲良くなれる確率を上げよう
- →名刺交換アプリ
- 仲良くなりたいと思ったときに、つながってそれを大切に未来につなげよう
- →SACCIM

仕様技術（SACCIM・名刺交換アプリ共通）

- T3 Stack: <https://create.t3.gg/>
- Supabase: <https://supabase.com/>
- React Spectrum: <https://react-spectrum.adobe.com/react-spectrum/index.html>
- React Aria: <https://react-spectrum.adobe.com/react-aria/index.html>

成果物

- SACCIM: <https://github.com/guredora403/saccim>
- 名刺交換アプリ: <https://github.com/guredora403/saccim>